

あの日から 24 年目の夏がやってきました。

# 空港が、ここにあるということ。

平成 5 年 7 月 2 日 萩・石見空港は開港しました。

「陸の孤島」と呼ばれたこの地域にとって長年の悲願であった空港開港。小雨が降る中に到着した東京発第 1 便は多くの人の拍手と歓声、そして感動の涙に迎えられました。



開港から 24 年。現在、萩・石見空港東京線は国土交通省羽田発着枠政策コンテストにより今年度末までの期間限定で 2 往復運航しています。大阪線は、今年度は 8 月 4 日から 21 日までの 18 日間の運航です。

空港が果たす役割は、産業振興、観光振興などに加え、医師不足解消（当直の応援に関東圏から東京線を利用して医師を招くなど）や U ターン促進など新たな地域課題を解決する上でも欠かせない存在となっています。

## ●次の世代へ

### 全国から萩・石見へ



圏域には、少人数教育や地域資源を活用した魅力ある教育を行い、全国から入学者を募集している高校もあります。

今年度も空港を利用して関東圏から入学者がありました。

### 萩・石見から全国へ

子ども達がスポーツなどで活躍する上でも萩・石見空港が役立っています。

「昨年度は横浜市で開催されたジュニアオリンピックに萩・石見空港を利用して中学生が出場しました。移動の負担も少なく萩・石見空港の存在は競技レベルの向上に貢献しています。」

（益田陸上競技協会 会長 豊田嘉男）

### 萩・石見空港を利用して地元出場校を応援に行こう！

- ・全国高等学校総合体育大会（南東北 7/28～8/20）
- ・全国高等学校総合文化祭（宮城県 7/31～8/4）

5 月分利用実績（上段：席数、下段：搭乗率）

	年間目標値	5 月実績	4～5 月累計
東京線	142,000 席	10,857 席	19,799 席
	59.6%	52.7%	48.8%
大阪線	2,150 席	8/4～8/21 までの 18 日間の運航です	
	80.7%		



開港当時の様子を伝える新聞記事

## ●私たちの空港をもっと身近に

### 空港施設のご紹介

#### 「エアポートショップ萩・石見」2 階

地域の特産品が充実。アジア初の「空港はちみつ」は今年も販売開始です。東京銀座で開催の「はちみつフェスタ 2017」(7/28～30) に出店します。

#### 「キッチンそらら」2 階

地元の食材や「空港はちみつ」を使用したメニュー、季節のおすすめ、日替わりメニューなど。

#### 「空港図書館」2 隅

乗継就航先観光ガイド本や一般図書など。どなたでも貸し出し可能。羽田空港ショッピングガイド情報誌「ビッグバードプレス」(無料配布) 毎月最新号を設置。

#### 「萩・石見空港利用拡大促進協議会コーナー」1 階・2 隅

旅行商品のチラシ、助成金情報、協議会の助成金申請のための申請書や投函箱を設置しています。

空港が、ここにあるということ。

それは過去からの贈り物、そして未来への懸け橋に。

東京線 2 往復運航継続の再評価は今年秋頃に行われると見込まれます。来年度以降の東京線 2 往復運航継続、大阪線運航期間拡大を実現し、空港の利便性を活かした地域振興のため、皆様のご利用、ご支援、ご協力をお願いいたします。